

令和4年度

第3回秋田県農山村ふるさと保全検討委員会

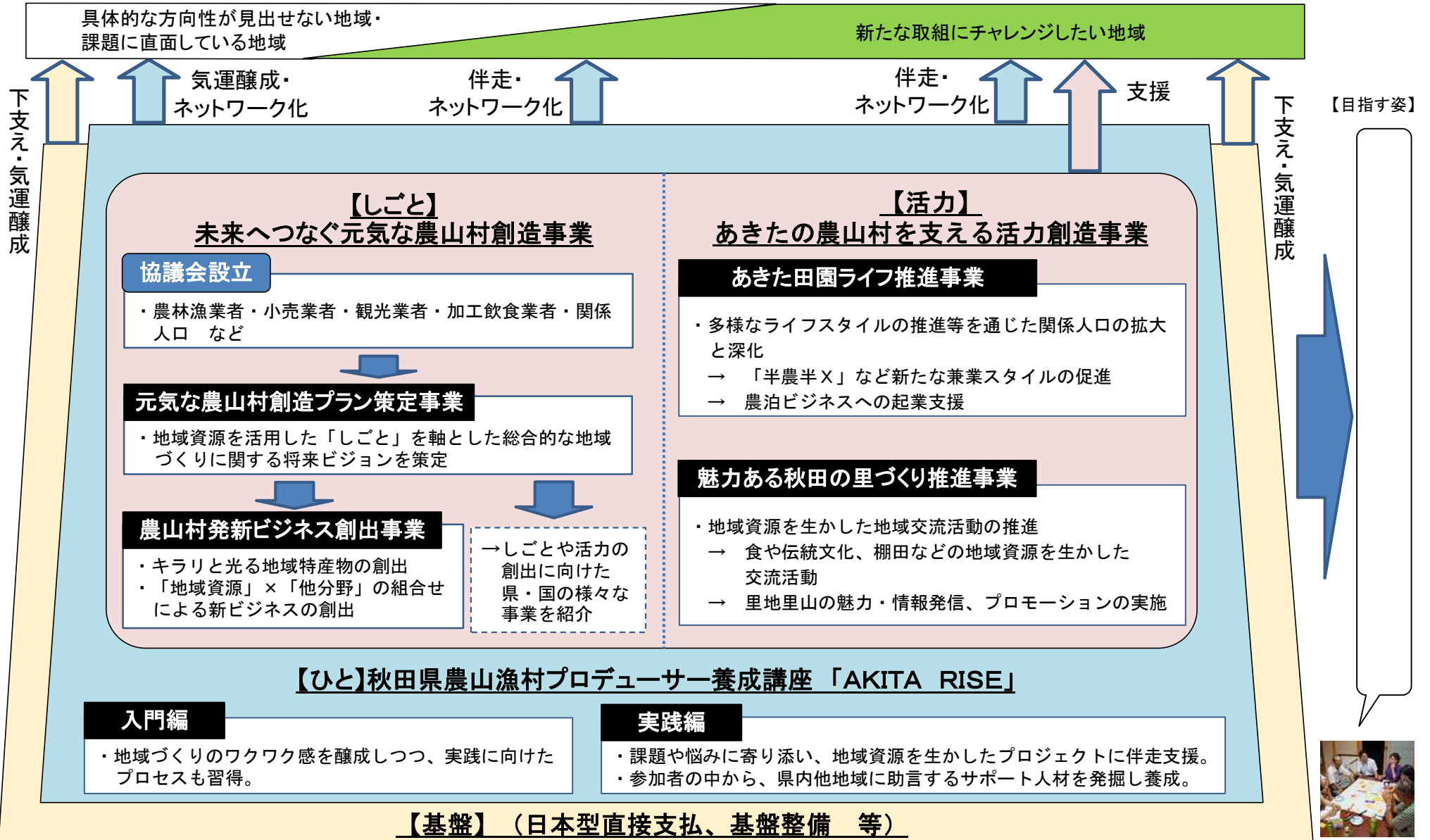
【資料2】

令和4年度の農山村振興施策の実施状況に関すること

# 秋田県の農山村振興施策の全体像(基盤・ひと・しごと・活力)

- 地域資源の核である農地、水路などの「基盤」の保全・整備を支援し、地域を下支えしつつ、農山村の活性化に向けた動きにつなげていく。
- 加えて、具体的な方向性が見出せない地域なども含め、あらゆる地域をカバーした「ひと」づくりにより、ワクワク感を持って動き出す地域の裾野の拡大と、新たな取組にチャレンジしたい地域への伴走の両面から支援しながら、同じ志を持つ者同士をネットワークでつないでいく。
- こうした土台の上で、地域資源を生かした新たな取組にチャレンジしたい地域を支援する事業を「しごと」・「活力」の両面から総合的に展開。

(事業の関係性)



# 未来へつなぐ元気な農山村創造事業

中山間地域等※において、多様な人材の参画のもとで地域資源を生かした地域活性化を目指すプランづくりから、地域特産物のブランド化や地域資源と観光等の他分野との組み合わせによる新ビジネスの創出までを総合的に支援。

※中山間地域のほか、「守りたい秋田の里地里山50」認定地域を含む地域、中山間地域等直接支払交付金実施地域を含む地域も対象

## STEP0: 協議会設立

- ・農林漁業者に加え、多様な人材（小売業者、観光業者、加工・飲食業者、関係人口など）が参画
- ・次世代への継承など取組の持続性も含め、必要な人材が参画

## (参考) 地域づくり活動支援事業

(補助率 定額 ※上限300千円(1年目)、100千円(2年目))

- ・農地等を活用した交流活動等を通じて、地域の活性化を図る取組を支援
- ・未来へつなぐ元気な農山村創造事業の実施に向けたトライアルとしても活用が可能

### 【成果】

・R4 5地域(鹿角1、北秋田2、山本1、由利1)

## STEP1: 元気な農山村創造プラン策定事業 (補助率 1/2(＋市町村協調助成1/2) ※上限300千円、1年間)

- ・地域資源を活用した「しごと」を軸とした総合的な地域づくりに関する将来ビジョンを策定
- ・策定に当たり、協議会構成員が秋田県農山漁村プロデューサー養成講座「AKITA RISE」を受講

### 【主な記載事項】

- ( )年後のビジョン
- 取組による効果(「しごと」「活力」の両面から記載)
- 将来ビジョンの達成に向けた取組
- ビジネスの取組目標(取組の内容ごとに複数設定可)



ワークショップの開催



先進地視察



AKITA RISEの受講

## STEP2: 農山村発新ビジネス創出事業(補助率 1/2(＋市町村協調助成1/12) ※上限2,500千円、2年間)

- ・元気な農山村創造プランに基づく、新たなビジネスの創出に必要な取組を支援
- ・同プランで設定されたビジネスの取組目標ごとに、1つの事業を実施可能

### 【支援対象となるビジネスの範囲】

#### ① 地域特産物のブランド化

農林水産物等について、2次・3次産業との連携を図るなどして、再生産可能な価格での販路を確保する取組

#### ② 新ビジネス

農地、森林、景観などの地域資源と観光や飲食等の他分野との組み合わせによるビジネス

### ① 地域特産物のブランド化



施設・機械等の整備



試験栽培  
新商品の試作・販売

### ② 新ビジネス



施設・機械等の整備



マーケティング活動等

### 【成果】

・R4 1件(1地域) 由利1

→さらに、しごとや活力の創出に向けた県・国の様々な事業を紹介し、総合的な地域づくりを後押し

※例えば、元気な農山村創造プランを策定していく中で、農用地の保全や生活支援にも取り組んでいく構想がある地域には、農村型地域運営組織(農村RMO)形成推進事業(農林水産省)を紹介

# 61-3 農山漁村振興交付金（中山間地農業推進対策）のうち

## 農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業

【令和5年度予算概算決定額 9,070（9,752）百万円の内数】

### <対策のポイント>

中山間地域等において、複数の農村集落の機能を補完する**農村RMOの形成**により**地域で支え合うむらづくりを推進**するため、**むらづくり協議会等が行う実証事業等**の取組、**デジタル技術の導入・定着**を推進する取組のほか、協議会の伴走者となる**中間支援組織の育成等**の取組に対する支援を実施します。

### <事業目標>

農用地保全に取り組み地域運営組織（100地区【令和8年度まで】）

### <事業の内容>

#### 1. 農村RMOモデル形成支援

地域協議会等が作成する**将来ビジョン**に基づく**農用地保全**、**地域資源活用**、**生活支援**にかかる**調査**、**計画作成**、**実証事業**等の取組、**デジタル技術の導入・定着**を推進する取組に対して支援します。

【事業期間】最大3年間

【交付率（上限）】定額（1,000万円(年基準額)×事業年数)

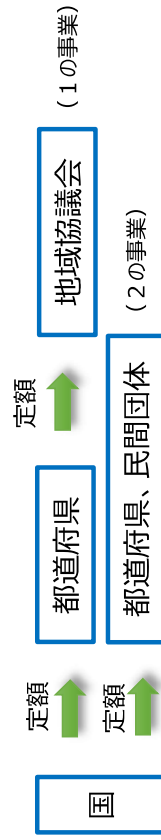
#### 2. 農村RMO形成伴走支援

農村RMO形成を効率的に進めるため、**中間支援組織の育成等**を通じて都道府県単位における**伴走支援体制の構築**や、各地域の取組に関する**情報・知見の蓄積・共有**、**研修等**を行う**全国プラットフォームの整備**に対して支援します。

#### 農村型地域運営組織（農村RMO：Region Management Organization）

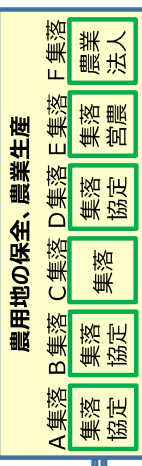
複数の集落の機能を補完して、**農用地保全活動**や**農業を核とした経済活動**と併せて、**生活支援**等**地域コミュニティの維持**に資する取組を行う組織

### <事業の流れ>



### <事業イメージ>

#### 農村型地域運営組織（農村RMO）のイメージ



#### 農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業

#### 農村RMOモデル形成支援



#### 農村RMO形成伴走支援



# 未来へつなぐ元気な農山村創造事業の取組事例

## 鹿角市花輪地域

### ～「鹿角タコス・チップス」による地域活性化～

- 取組内容
- ・タコス・チップスを活用した交流の場の創出（R4.11月にカフェバーオープン）
  - ・タコス等の原材料となるブルーコーンを地元で生産するため試作中
  - ・その他のタコス材料も地元産食材を活用

- 主な構成員
- 農家、農業法人  
鹿角タコス（若手移住者3名）  
燻製屋猫松 等



ブルーコーン試作



ブルーコーンチップス

## 北秋田市大阿仁地域

### ～秋田内陸線「比立内駅舎」を活用した地域活性化～

- 取組内容
- ・地域特産物の加工・販売所の整備
  - ・がっこ加工技術の継承など、地元食文化の保全・継承に向けた学びの場の創出
  - ・駅舎をコワーキングスペース、カフェ&バーとして活用し、交流の場を創出

- 主な構成員
- 農家  
（一社）大阿仁ワーキング  
地域おこし協力隊  
自治会・婦人会・青年会 等



がっこステーション  
（比立内駅舎）



駅舎内にある  
コワーキングスペース

## 藤里町粕毛地域

### ～「南白神の里」ブランドを活用した地域活性化～

- 取組内容
- ・南白神の里ブランドを生かした地域特産物の加工・販売
  - ・農泊施設を生かした交流の場の創出
  - ・地域内の農用地保全・生活支援のための共助体制の確立

- 主な構成員
- 農家  
NPOふじさと元気塾  
ふじさと粕毛まちづくり協議会  
地域おこし協力隊  
農家民宿経営者  
多面的機能支払活動組織 等



南白神ベース  
（農泊施設）



豊富な湧水を  
活用した養殖

## にかほ市横岡地域

### ～ゲストハウスを交流拠点とした地域活性化～

- 取組内容
- ・古民家を活用したゲストハウス整備による交流の場の創出
  - ・地域特産物「横岡そば」などを生かした体験メニューの提供
  - ・日本型直払（多面、中山間）活動組織と連携した農用地保全

- 主な構成員
- 農家  
地元そば生産組合  
地域おこし協力隊  
自治会  
日本型直払活動組織 等



古民家のゲストハウス整備



# 秋田県農山漁村プロデューサー養成講座「AKITA RISE」

## 秋田県農山漁村プロデューサー養成講座

# AKITA RISE



**AKITA RISEに込める思い**  
農山漁村の活性化に向けて、より多くの人々がワクワク感を持って動き出す。ここで出会った人たちが、ワンチームとなってお互いのプロジェクトを高め合う。そんな秋田の未来を創りたいという思いから、本講座を創設しました。

**入門編・第2回講座**

# 12月2日(金)

【時間】13:30~16:15 【参加費】無料  
申込締切 11月28日(月)18時

**秋田市会場**

秋田拠点センターアルヴェ  
〒010-8506 秋田県秋田市東通仲町4-1



**県北(北秋田市)会場**

北秋田市交流センター  
〒018-3301 秋田県北秋田市村木町2-2



**県南(大曲市)会場**

大仙市大曲交流センター  
〒014-0063 秋田県大仙市大曲日の出町2-7-53



**【基調講演】**  
地域づくりは子や孫への先行投資

農村道火型プランナー(農林水産省)  
地域力創造アドバイザー(総務省)  
農村づくりプロデューサー(山形県)  
高橋 信博 氏



**【パネルディスカッション】** 県内の取り組み事例を掘り下げる

● 官民協働で後継者対策に取り組む地域  
北秋田市商工観光課  
副主幹 千葉 祐幸 氏  
宮コホレシヤパン株式会社  
代表取締役社長 浅井 克俊 氏




● 多角的な法人経営に取り組む地域  
有限会社折林ファーム  
取締役 三浦 徳也 氏



● 魅力ある里づくりに取り組む地域  
越の里commune  
代表 遠山 桂太郎 氏



**【交流会】** 講座終了後 16:30~17:45(予定) 参加者を班分けしてのディスカッション、講師との意見交換(任意参加)  
※参加する回ごとに新たな人と交流できるような班分けをします!

## 秋田県農山漁村プロデューサー養成講座詳細

### 入門編

**内容** 地域づくりのワクワク感を醸成しつつ、実践に向けたプロセスも習得。

**対象者**

- 具体的な方向性が見だせていない者も含め、地域づくりに意欲のある者(学生含む)
- 農山村の地域活動に参画したいと考えている者

### 実践編

課題や悩みに寄り添いながら、農山漁村の資源を生かした新たなプロジェクトに伴走支援。

- 取組にチャレンジ中の者
- チャレンジに向けて踏み出したい地域の者 等

**カリキュラム**

開催	日程	講座テーマ
第1回	2022年9/15(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基調講演 農村の超絶まちづくり ~価値創造型の農村イノベーション~ BBT大学 経営学部グローバル経営学科 学科長・教授 / BBT 大学大学院 MBA 教授 INSPIRE 代表理事 谷中 修吾 氏</li> <li>● パネルディスカッション (株)ひの里 代表取締役 佐藤深輔 氏 NPO法人八峰町観光協会 板谷大樹 氏</li> </ul>
第2回	2022年12/2(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基調講演 自ら動き出したい地域づくり 農村着火型プランナー 高橋信博 氏</li> <li>● パネルディスカッション 出演者は県内取組事例から調整中</li> </ul>
第3回	2023年3/9(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基調講演 未来志向の地域づくり 明治大学農学部教授 小田切徳美 氏 地域に飛び込む若者達の思い Rural Labo 代表 小菅勇太郎 氏</li> <li>● 実践編受講者発表会</li> <li>※実践編第7回と合同開催</li> </ul>

開催	日程	講座テーマ
第1回	2022年10/4(火)	● 地域の魅力を活かしたビジネスを作る 事業家の考え方を学ぶ 地域の魅力×想い描く未来×地域課題から事業を再構築する
第2回	2022年10月	● ビジネスモデルの整理 地域ビジネスづくりのためのマーケティング理論を学ぶ
第3回	2022年11月	● 先進事例から構想を具体化する 他県の地域活性ビジネスの事例を知り、自身のビジネスモデルに不足している要素を確認する
第4回	2022年12月	● 事業構想案のブラッシュアップ 実現するためのステップを設計する
第5回	2022年12月	● 持続可能なビジネスの構築 ビジネスモデルの収益性、資金調達を検討する
第6回	2023年2月	● 事業構想・計画のブラッシュアップ 構想を持続的な事業にしていけるための計画を立てる
第7回	2023年3月	● 事業構想の発表 地域ビジネスの事業構想を発表 ※入門編第3回と合同開催

**【交流会の概要】**

- ・4人程度で班を編制し、自己紹介・講座内容の振り返り
- ・講師への質疑応答や意見交換

⇒交流会への参加を重ねるごとに、新たな繋がりや発見が生まれる！  
⇒県職員にとっても、現場の意欲あるプレイヤーと繋がるきっかけに！

講座開催日に限らず 個別相談にも対応し 伴走支援

- 【入門編】

- ・ 第1回 96名参加
- ・ 第2回 102名参加

- 【実践編】

23名（15プロジェクト）受講

- 参加者の声

- ・ とがった基調講演が楽しく勉強になりました。
- ・ 3会場体制であることを忘れさせるような一体感が良かったです。
- ・ 農山漁村関係者に限らず、地域づくりの関係者も巻き込めると思いました。
- ・ たくさんの気づきをさせてもらいました。